

平成30年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

福岡県立武蔵台高等学校長 印

Table with columns: 学校運営計画(4月), 評価(総合), 学校運営方針, 昨年度の成果と課題, 年度重点目標, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. Includes sub-sections for 教務課 and 国際理解・地域歴史文化教育の充実.

教務部	企画庶務課	各部・学年と連携し、円滑に学校運営が行えるよう努める。また、活気ある学校作り推進のために各行事の企画を行う。	各部・各学年と連携を密にし、調整を行い、月開始時に2か月分の行事予定を提示・配布し、全職員の共通理解を図るとともに、保護者への周知を図る		
			各部・各学年と連携を密にし、各学校行事に関する要項を、前年度の反省を踏まえ適切な内容で企画し、適時に提示・配布し、全職員の共通理解を図る		
			学校要覧・入学のしおり等が適時に発行できるよう、各部との連絡・調整、スケジュールの管理を行う		
			各会議の会議録の保存、会議欠席者への情報提示を行い、職員全体の共通理解を図る		
			40周年準備委員会を補佐し、40周年記念関連行事等が円滑に行えるよう準備を行う		
	同窓会・PTAとの連携を深め、各活動のサポートを行う。	PTAとの連携を図り、PTA全体の行事や、各分掌と連携したPTA各委員会活動のサポートを行う			
		PTA総会・全学年合同懇談会等、PTA関連行事への保護者参加数を増加させる工夫を行う。			
		同窓会と連携を図り、同窓会総会、同窓会入会式等の行事の運営をサポートし、同窓会全体の活性化に協力する			
	職員室・更衣室等を整備する	事務室・保健環境課・衛生委員会と連携し、職場の環境整備に努める			
	奨学金に関する業務を適切に行う	各種奨学金について、適時、職員・生徒に情報を提供し、状況に合ったサポートを行う 給付型奨学金の推薦規定を整備し、円滑に先行が行えるようにする			
ユネスコ課	ユネスコスクール活動のさらなる充実を図る	総合的な探究の時間の課題設定を行い、生徒自身に年度末の振り返りをさせる			
		ユネスコスクール講演会を充実させる			
		ユネスコスクール活動によって、持続可能な開発のための教育(ESD)を推進することで持続可能な社会づくりの担い手を育成する。			
		ユネスコスクール加盟校として、地域のESDの推進拠点としての役割を果たす。			
		第1学年と協力し、地域歴史文化事業(太宰府研修)を実施する			
	教務課と連携し、事業の充実を図る	海外派遣研修等を実施し、国際交流事業の充実を図る			
		ユネスコが主催している「寺子屋プロジェクト」に参加する			
ESD教育の一環として取り組まれている「服のカプロジェクト」に参加する					
生徒指導課と連携し、事業の充実を図る	地域との交流事業として、天拝小学校との交流事業(サマースクール、吹奏楽部による交流)を行う				
	年間3回の天拝山登山を実施する(そのうち1回は天拝小学校の児童との交流天拝山登山として実施) 生徒会活動と連携して、活動のさらなる発展に貢献する				
人権教育を通じて、生徒の人権感覚を磨き、人権を尊重する精神を育てる	本校の人権教育基本方針に基づき、人権を尊重し、信頼と愛情に満ちた学校づくりを目指す				
	人権学習を年間計画に基づいて実施する。(1・2年生～年間3回、3年生～年間2回)				
	人権学習の指導案に関しては、十分な審議を経て作成し、反省を行い、次年度に活かす あらゆる教育活動において人権尊重の基本姿勢を培う指導を心がける				

生徒部	生徒指導課	規律ある学校生活や学習態度がとれる生徒を育成していくため、基礎学力の定着・向上を考え、生徒一人一人に対して信頼と愛情に基づき、きめ細やかな指導を行う	生徒心得を基本とした、躰の徹底を図り、集団生活のルール・マナーを確実に実践させる		
			全職員で積極的生徒指導を行ない、始業時の身だしなみチェック・「黙想」とともに教室の環境整備も行う		
			生徒を中心とした生活指導に力を入れ、あらゆる場面や機会を職員は逃さず、個々に応じた指導を行う		
	生徒指導課	ユネスコスクール活動や様々な行事を経験することにより、愛校精神や地域・郷土愛を育み、清らかで義理・人情に厚い生徒の育成を図る。また、学校いじめ対策基本方針を踏まえ「いじめ」や不登校生徒に速やかに対応し、信頼に応えるべく努力する	生徒会各種委員会をリーダーシップの育成としても機能的に活動をさせる 生徒会やクラス単位・部活動で、毎日の諸活動のスタートとして、挨拶運動を実践する。また、天拝小学校との合同挨拶運動等で全校生徒への啓蒙活動を行う 生徒による天桜祭実行委員会や体育祭実行委員会の自主的活動を図る 学校いじめ対策基本方針を職員に周知徹底し、毎月のいじめアンケート実施や校内巡視等を行い、生徒を見守る機会を増やし、早期発見や安全を確保する 生徒支援委員会で情報を共有し、不登校を未然に防止する		
		各集会や部活動等の諸活動を通して、集団への所属意識や連帯感理解させ、地域社会や保護者又は校内諸係との連携に努め、信頼される人間性を育成する	本年度も部活動体験入部期間を設定し、5月時点で部活動加入率80%を上回るように指導する		
			天拝小学校と合同挨拶運動を年間3回実施と7月末の天拝小学校サマースクール参加及び交流天拝山登山を年1回実施する		
	PTAの生活指導委員会と連携し、校外補導及び交通指導を実施する				
	生徒部	学校生活のあらゆる機会を通じて、生徒の安全や規範意識に対する認識を深めさせ、危機管理能力を育成する	自転車通学生生に対して、自転車点検と安全指導を行い、常日頃より担任副任から機会あるごとに指導し、交通事故0を目指す		
			交通安全教室を2回(講演、スタントマンを含む)を実施し、生徒に注意喚起を行う		
			携帯・スマホの利用方法に触れ、講演等によりSNSや掲示板の危険性を理解させる		
			交通事故や苦情が発生した場所やルール・マナーについて、昇降口掲示板を活用し、視覚に訴える指導や情報収集力を養う		
			ルール・マナー違反が度重なる生徒に対し、個別指導を行う		
保健環境課	校内美化とゴミの持ち帰りの推進を通して、愛校心や公共施設を大切にすることを養う	ゴミの持ち帰りの推進・古紙回収の推進を行う			
		美化委員会の活動を通して校内美化の意識を高める。ゴミ集積場管理を行う			
		美化週間の実施を通して美化意識の向上を図る。(1・2学期実施)			
		職員の清掃に対する意識向上をはかる			
	教員と生徒の信頼関係を確立する支援を行う	生徒支援委員会の年20回以上行う			
		担任会・学年会・分掌会と生徒支援委員会との情報交換・支援を行う			
		特別支援コーディネータとして、支援の必要な生徒へのケアに努める			
	危機管理体制の充実を図り、行事等における事故防止に努める	SCを通じて、生徒の抱える問題の深刻化を防ぎ、心のケアに努める			
防災避難訓練やLHRを通して、生徒の避難体制の徹底を図る					
宿泊研修や行事前に「健康相談」を実施し、事故防止に努める					
生徒の基本的な生活習慣の確立を目指し、健康管理に努めさせる	危機管理マニュアルの作成と安全点検を3回以上実施する				
	保健委員会の活動として、保健だよりの発行を10回以上する				
	保健委員会の研究活動を今後も継続して行う。(学校保健会、文化祭発表)				
		ベルマーク回収等の活動について、委員会で検討して行う			

進路指導課	<p><1年> キャリア教育の充実を図り、職業観を育成しながら、将来の進路目標を設定させる</p>	<p>好学プロジェクト大学研究において、大学での学びに興味・関心を持たせる 適切な職業選択に必要な理系・文系双方の大学学部・学科の知識を学ばせる キャリアワークショップを行い、職業選択に向けた勤労観・職業観を育成する 進路希望調査を定期的に行い、進路実現に向けた適切な文理選択を行わせる 大学入学共通テスト受験に備え、試験制度の仕組みを学ばせる 実用英語技能検定試験受験を奨め、外部試験活用入試の準備を行わせる 小論文指導で講演会・レポートを行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る</p>		
	<p><2年> 探究心、向学心を育てる指導を通して、進路目標を実現するための具体的な方策を設定させる</p>	<p>志望大学合格に必要な目標点数を設定させ、校外模試を受験させる 夏季休暇中のオープンキャンパスに参加させ、大学受験に向けた意識を高める キャンパスワークショップを行い、大学の教育内容を体験させる 進路希望調査を実施し、3年次のコース選択を適切に行わせる 修学旅行後に進路講演会を実施し、受験生への意識の切り替えを行う 実用英語技能検定試験を奨励し、準2級合格者を増やす 小論文講演会とレポートを実施し、思考力・判断力・表現力の育成を図る</p>		
	<p><3年> 進路実現に向けての方策を実行し、各生徒の進路希望を達成させる。 (国公立30名、福大200名、西南100名合格)</p>	<p>志望大学合格に必要な点数を意識させ、校外模試を受験させる 校内大学入試説明会を2回実施し、合格に向けた生徒への情報提供を行う 校内・校外での自習室や学習スペースでの自習の励行を積極的に進める 入試関連の書籍の貸し出しを積極的に勧め、緻密な入試対策を行わせる AO・推薦・国公立二次での面接・小論文対策を計画的に行う 公務員・看護志望者に模試を受験させ、合格に向けた弱点補強を行う 実用英語技能検定試験を受験させ、2級以上の合格者を増やす</p>		
	<p><共通> 大学入試新テストに向けた情報発信と組織の充実、PTAとの連携をはかる</p>	<p>2020年度大学入試新テストに向けた情報収集と準備を行う 大学入試試行テストの問題を各教科で分析を行う 模試対策・入試対策・生徒の進路希望に応じた補習の充実を進める 中学校への四年制大学進路実績のアピールを行う 生徒が積極的に進路室を活用できるように、書籍・資料の充実を行う データ処理を含め、分掌内の教員のスキルアップを図る PTAの大学見学を通じて、四年制大学進学への理解をすすめる</p>		
情報広報課	<p>本校公式ウェブページの充実を図る(広報)</p>	<p>2020年度大学入試新テストに向けた情報収集と準備を行う 職員研修を実施し、全職員がウェブページの更新ができる体制を整える 部活動のページの更新を学期に1回以上は行って頂くように、各部活動の顧問の先生にお願いする 学校行事(文化祭、体育祭、修学旅行)の様子や、部活動の活躍の結果を速やかにウェブページに載せ、本校の教育活動をアピールする 本校のウェブページへのアクセス数を、先生方に定期的に知らせる</p>		
	<p>「634ニュース」を用いて、本校の教育活動を中学校へ積極的にアピールする(広報)</p>	<p>「634ニュース」を毎月発行する(4月、8月、2月、3月は除く) 各中学校の担当割に従い、担当の先生に「634ニュース」を中学校へ持参して頂き、掲示を依頼するとともに、中学校側から本校の評判などの情報を得る</p>		
	<p>必要な情報を、保護者に適切に提供する(広報・情報)</p>	<p>PTA広報委員会と協力して弘報「天拝」を作成し、保護者へ本校の教育活動を発信、報告する メール配信システムを有効活用し、保護者へ、緊急連絡や学校行事等の連絡を迅速、かつ密に行う メール配信システムへの加入者が、9割以上になることを目指す</p>		
	<p>校内用パソコン、校内LANの安全かつ円滑な運用ができる環境を整える(情報)</p>	<p>校務用パソコン、校務用サーバ、校内LAN、授業用パソコンのセキュリティー対策を確実に 各教室に引かれている校内LANが現在も機能するかチェックし、壊れている箇所は可能な限り修理して、校内LANを授業で活用できる環境を整える 「武蔵台メニュー」の普及を推進し、先生方の意見を取り入れながら、使いやすいものに改善していく</p>		
	<p>ICT機器を利用した授業が行いやすい環境を整える(情報)</p>	<p>プロジェクタ、デジタルカメラ、ビデオカメラなどのICT機器の管理を徹底する 電子黒板が本年度も1台導入され各学年1台ずつという環境が整うので、必要な研修を実施や、使用マニュアルの作成をとおして活用の活性化を図る ICT機器を活用した授業実践例について、情報を収集する</p>		
進路部				

研修部	研修課	授業研修に取り組み、授業力を向上させる	研修主題に基づいた授業研究を行い、授業力向上・授業改善に活かす		
			学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科の授業において言語活動を取り入れたり主体的・対話的で深い学びやICT活用を積極的に行い授業力向上を目指す		
			生徒授業評価アンケートを年2回実施し、データ分析をするとともに、その後の授業改善に活かす		
		校内の実態に即した職員研修会を企画運営するとともに、職員の校外研修を推進する	中堅若手教員相互授業参観を実施し、中堅若手教員の指導力の向上を図る		
			本校の課題解決に向けて効果的な職員研修会(年5回)を企画し、実施する		
			教師力を高めるため、教育センターや各種の校外研修会等を職員に案内し参加を促す		
		教育実習、PTA研修会を運営し内容の充実を図る。40周年記念誌の準備を行う。	初任者に対する計画的な研修を行い、初任者の指導力を育成し向上させる		
			教育実習生への指導を行い、充実した教育実習が行われるようにする		
			PTAの研修委員会活動を保護者と協力して行い、PTA研修会の充実を図る		
	図書課	朝読書の推進による生徒の読書週間の確立・継続を図る	40周年記念誌の企画内容を検討し準備を行う		
			全職員で朝読書の意義・目的を理解し、朝読書の徹底を図る。時間の確保にも努める		
			NIE(newspaper in Education)を適宜導入し、新聞記事を読ませる機会を設ける(月に最低1回)		
図書館の活性化と読書活動の定着を図る		教員からお勧め本の意見を集め、生徒に適宜発信することに努める			
		図書委員会活動を活性化させ、図書館便り(年1回・年度末)、ライブラリーニュース(年3回以上)、及び司書教諭便り(ライブラリーニュースplus・年3回以上)の発行を行う			
		図書委員による文化祭展示・ポップ作成などを行い、生徒による読書推進活動を充実させる			
		一人あたりの年間貸し出し冊数目標を平均3冊以上とする。(参考:平成29年度は一人2・84冊、貸し出し総数3412冊)			
検索資料の充実・拡大を図る		図書館祭を企画し、(昨年読書活動・ブックカバー作り)多読者を表彰する			
		図書館検索システムの緩やかな切り替えを行う (現在探検隊:昨年度在籍生はCASAのデータが残っている)			
研究紀要を作成する		選書委員会を中心に、授業での図書館利用の機会を充実させるため、資料の精選・検討・要望調査などを行う			
		生徒の情報検索用パソコンの使用規定明文化を検討する			
		研修参加者を中心に、各行事担当者から、研究紀要に論文・資料を集める。期日を早めに設定し、年度内に配布出来るよう努力する			
		40周年記念誌発行の準備に着手する。内容や体裁を検討する			

学年 第一学年	規律ある生活習慣の確立と規範意識の育成を図る	<p>保護者との連携を図り、出席皆勤者200名以上を目指す 挨拶・返事の徹底と高校生らしい言動を心掛けさせる 掃除を徹底させ、学習環境を整えさせる 提出物等について、期日までの100%提出を徹底させる 二者面談やホームルーム活動を有効活用し、個に応じた指導・支援を行うことで転退学者0名を目指す ルール、マナーを守らせ、継続的指導を通して、規範意識をもたせる</p>		
	学習習慣の確立 進路目標の明確化を図り、将来進路の視野を広げる	<p>授業に対する姿勢を大事にさせる(教材教具の管理、予習・復習、態度) 課題等を充実させることで学習習慣の確立を目指す 進路意識を向上させるため、進路情報・入試対策を1年次から提供する 進路学習を通してコース選択についての確かな指導を行う キャリアワークショップを通して将来像をイメージさせることで進路目標を明確にさせる</p>		
	武蔵台生としての自覚をもたせ、所属意識・連帯感の高揚を図る	<p>学校行事・委員会等への積極的参加を奨励させ、達成感を味わわせる 体育祭、天桜祭でリーダーを中心に活動させることで、学年・クラスの達成感を高める 天拝山登山・地域歴史文化事業を通して地域の歴史に触れることで、郷土愛、武蔵愛を深めさせる 部活動加入率80%以上を目指し、文武両道を実践させる</p>		
	学校生活のあらゆる場を通して人権意識を育成する	<p>学校生活を通して、他者を敬う態度を育成し、いじめのない学校生活を目指す 生徒支援委員会・学年・部活動顧問と連携し、情報の共有に努める 学年通信の定期的な発行(5回)と家庭との適切な連携により協力体制を構築する 学年集会やHR活動において携帯電話(SNS等)の正しい利用方法・活用を指導する</p>		
学年 第二学年	規律ある生活習慣と継続的な学習習慣を確立させる	<p>出席皆勤200名以上を目指す 学年で出席強化月間を設定し、出席皆勤コンクールを実施するなど意識の高揚をはかる 年間を通して二者面談を実施し、個に応じた指導を行うことで転退学者0を目指す 年間6回以上、学年通信を発行し家庭との適切な連携をはかるとともに協力体制を構築する 担任、副担任、学年職員間の連携を密にし生徒の情報を共有する 予習・復習の励行や課題の提出の徹底をはかり学習習慣の確立を目指す 授業に対する姿勢を大事にさせる。(教室環境・教材教具管理・態度)</p>		
	向上心ある進路目標の設定と目標達成のためのコース選択を行わせる	<p>生徒自ら、向上心をもって学習に取り組む環境、体制の整備をおこなう 校外模試の対策を体系的に行うことで3教科偏差値50以上、100人を目指す 朝補習、土曜セミナーの内容充実を図り進路意識の高揚に繋げる キャンパスワークショップ等の取り組みを通して達成可能かつ、より高い進路目標を確立させる 適切な進路情報を提示し進路研究を行わせることで前向きなコース選択をさせる</p>		
	中核学年としての自覚の深化と武蔵台のリーダーを発掘し育成する	<p>各学校行事を通してリーダーを中心に活動させることで学年・クラスの連帯感を高めさせる 各行事においてリーダーを発掘、育成し来年度を見据えた参画をさせる 美化委員を中心に学年美化コンクールを実施し美化意識の向上をはかる 風紀委員を中心に風紀検査を実施することで規範意識の高揚をはかる 朝礼、終礼、学年集会で司会を務めさせるなどコミュニケーション能力を育む機会を多く設ける 冬季集団合宿訓練を生徒の成長の機会とするべく企画立案を行う</p>		
	自己肯定感を高揚させ、心身の健全な発達を図る	<p>5分前行動、言葉遣い、身だしなみについて指導を通じて社会人としての基礎を確立させる 生徒支援委員会・学年・部活動顧問と連携を深めることで情報の共有に努める 各教科で努力が見えるような施策を行い達成感を味わわせる 学校行事を通して愛校心を育成するとともに成功事例を多く体験させる 新人大会において県大会出場部活動が3部以上となるよう文武の両立を図る</p>		

第三学年	より高い進路目標を立てさせ、地域の信頼を得ることができる進路実現を目指す 国公立大学 30名 福岡大学 200名 西南学院大学以上 100名	進路目標の早期確立を図り、進路実現への意識を高揚させる ○より高いレベルの進路先を目指す指導 ○キャンパスガイダンス(大学説明会)の活用 個に応じた進路指導の充実を図る。 ○校外模試の詳細な分析とアドバイス ○二者面談の適時実施 ○補習・土曜セミナーの講座内容内容および実施方法の工夫 希望進路実現のための具体的な学習計画・学習方法を構築し実施させる。 ○家庭学習の充実(学習環境と時間の指導)			
	「凡事徹底」を常に意識させ、社会に通用し貢献できる人材を育成する	健康管理と安定した生活習慣が、進路実現に有効であることを理解させ出席皆勤を目指す。 ○前年度161名→今年度200名 規範・秩序意識を確立させる。 ○学年全体で協力しての風紀面の指導の徹底 ○身の回りや教室の学習環境を整える指導の徹底 時間厳守と清掃の徹底を図る。 ○遅刻減少に向けた指導の徹底 ○毎日の雑巾がけの徹底			
	最上級生としての自覚を持たせ、本校生のリーダーとしての資質・力量を育成する	最上級生としての意識の涵養を図る。 ○学校行事のあらゆる場面を通じた責任感の育成 望ましい人間関係を構築させ、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的実践的態度を育てる。 ○生徒主体での体育祭等の行事の企画運営			
	学校生活や行事を通じ、心身の健全な発達・人権意識の涵養を図り、人間としてのあり方生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う	天拝山登山・クラスマッチ・文化祭・体育祭などの行事の意義を十分に理解させ、意欲的に参加させる。 自己管理を徹底させる。 ○健康面・精神面・生活習慣を含めた自己管理について適宜指導する 行事はもとよりあらゆる学校生活の場面を通じて他者を顧みて尊重することができる態度を育成する。			